

第3学年 英語科学習指導案

日時：令和4年11月25日（金）5校時

学級：名護市立小中一貫教育校屋我地ひるぎ学園

3年1組 男子5名 女子6名 計11名

授業者：渡具知 武巨 ALT：Anel Berdenova

1 単元 Unit5 Plastic Waste Here We Go! English Course 3 (光村図書)

2 Round 3 の目標

○聴き親しんできたストーリーの音声と文字を合わせ、リンキングや発音、イントネーションに気をつけて英語らしく読み聞かせをすることができるようにする。

【知識及び技能】

3 単元について

(1) 教材観

新学習指導要領が示す外国語科の目標は「外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考え等を理解したり表現したり伝えあったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。」とある。その目標を踏まえた上で、ラウンド活動をベースとし、本単元では、(2)に示す「コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝えあったりすることができる力を養う。」という目標に向かう。

ラウンドシステム最後の Round 5 では、特に話すこと（やり取り）の領域「日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができるようにする」について扱う。

言語材料としては関係代名詞 (**which ,that**)、名詞の後置修飾を取り上げ、それらを用いた英文からストーリーのトピックを読み取り、音読する。これまでの帯活動やミニプロジェクトにおいて、「SDGs」について触れており、本単元の内容も「SDGs」が示すゴールと結びつきやすい内容となっている。

生徒にとって身近で関心のある「SDGs」を生徒自身が選択し、題材として扱い、自身の考えを深めると同時に、人に伝わりやすい話し方や表現を身につけることができるようにする。

本単元は、世界中で深刻な環境問題となり、「SDGs」のゴール及びターゲットとしても取り上げられているプラスチックごみへの諸外国の対応のあり方や改善に向けた実践事例、提案などが紹介されている教材である。物語や説明文等から要点を捉え、日本だけでなく、グローバルな視野に立った意識を構築することで、多様な人々や文化及び環境問題等に関心を持ち、主体的に学習に取り組む姿勢を育みたい。

(2) 生徒観

定期的に行っている英語の学習に関するアンケートでは、**78%**の生徒が「英語がとても好き・好き」と答えており、授業に主体的に臨む生徒が多い。その中で、ラウンドシステムに関するアンケートを実施し、どのように捉えているか尋ねてみると次のような結果が表出している。「ラウンドシステムを取り入れた授業は楽しいですか」の問いに対して**77.8%**が「とても楽しい」と回答し、**22.2%**が「楽しい」と回答している。更に、「ラウンドシステムで英語力が高まると思いますか」の問いに対して**23%**が「とても高まる」と回答し、**77%**が「高まる」と回答している。

6月に実施された沖縄県学力定着状況調査の結果、本校（3年生）の平均正答率が**62.5%**、沖縄県の平均正答率が**44%**となっており、県の平均正答率を**18.5%**上回る結果となった。更に、9月に行われた英検 **IBA**（リーディング・リスニング版）の結果、学年の分野別平均正答率がリスニング分野**80.8%**、語彙・熟語・文法分野**82.5%**であったのに対し、読解分野が**70%**と若干、低いという結果がわかった。読解問題への苦手意識を改善するため、ラウンドベースの活動を行いつつ、教科書の内容だけにとどまらず、あらゆるトピックを題材とし、内容を掴んだり、読み取ったり、様々な見解に触れ意見を交わしながら自身の考えを構築していく活動を帯活動やミニプロジェクトの中で実践していきたい。

当該学級（学年）は小集団ではあるが、様々な個性を持った生徒が集まる学級（学年）である。時折、その特性が強くと露呈し学びの質に影響を及ぼすことも見受けられるが、互いの強みを生かし、弱みを補え合える支持的風土は醸成していると感じる。

(3) 指導観

Round Based System では、前述の通り、各ラウンドの活動を通して、「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと（発表・やり取り）」、「書くこと」に迫る様々なアクティビティーを行い、生徒が主体的に対話的な学びに向かえるよう工夫している。

前述の **Round 3** の目標を掲げ、「詳細理解のために音声と文字を合わせ、発音に気をつけて英語らしく読み聞かせすることができる」ことを目指したい。英語に対して肯定的な見解を示している生徒集団であるが、人前で堂々と自身の意見を述べることに苦手意識を持っている生徒もいるため、様々な見解に触れ意見を交わしながら自身の考えを構築していく活動を帯活動やミニプロジェクトで体験させ、発信力を身につけさせたい。

更に、**FINAL PROJECT** では **Round Based System** で培ってきた知識技能を発揮し、自身の興味のある **SDGs** について書いたり、述べたり、他者と意見を交わし、関わることで **SDGs** について理解を深め発信力の向上につなげていきたい。

(4) 校内研修テーマとの関わり

校内研修テーマ：「主体的・協働的に解決する力」を育み伸ばす小中一貫教育の在り方
～児童生徒理解を基盤とした授業改善を通して～

本校校内研修テーマは、児童生徒の実態を的確に捉え、個別最適な授業改善を取り入れつつ、児童生徒が主体的に学びに向かい、互いに問いを持ち協働し合うことで小中一貫教育校としての強みを生かした実践につなげたいと考え設定されている。

校内研修テーマを踏まえ、英語科は『「コミュニケーション能力の伸長と生きて働く英語力の育成」～問いをもち、対話的で深い学びを育む授業の工夫改善を通して～』をテーマとしている。

そのテーマに迫る手立てとして、他者との関わりの中で生徒同士の双方向のやり取りを重視した言語活動を通し、協働し合いながら課題解決に取り組む態度を育みたい。生徒自身が学ぶことの意義を理解し、自ら考え判断する資質・能力を身に付け、よりよい人間形成に繋げられるよう取り組みを進めている。

4 ラウンドシステムについて (Round Based System)

FINAL PROJECT (Topic:SDGs)

【意見交流を通して考えを深める】屋我地ひろぎ学園 SDGs トークを開催しよう！

FINAL PROJECT の目標と評価

目指す生徒像

- これまで Round Based System で培ってきた知識技能を發揮し、自身の関心のある SDGs について意見を述べることができる。
- SDGs に関する様々な課題を理解し、持続可能で、世界のために、自分たちができることについて意見を交わし、他者の意見も受け入れながら考えを深める。

☆目標

- 各ラウンドのミニプロジェクトで取り組んできた SDGs について既習事項を活用し、自身の気持ちや意見を表現することができるようにする。 【知識及び技能】
- お互いの考えや意見を伝え合うために、発表内容について自身の考えや気持ち等、感じたことを既習事項を用いて伝えることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】
- 自身の考えや気持ち等を聞き手に、伝わりやすいよう工夫し、主体的に取り組むことができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】

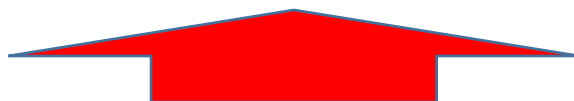
☆評価規準

○各ラウンドのミニプロジェクトで取り組んできた **SDGs** について既習事項を活用し，自身の気持ちや意見を表現する技能を身につけている。 【知識及び技能】

○お互いの考えや意見を伝え合うために，発表内容について自身の考えや気持ち等，感じたことを既習事項を用いて伝えられている。 【思考，判断，表現等】

○自身の考えや気持ち等を聞き手に，伝わりやすいよう工夫し，主体的に取り組もうとしている。

【主体的に学習に取り組む態度】



ミニプロジェクト	Making Presentation & talk	Making Presentation & talk	Making Presentation & talk	Making Presentation & talk	Making Presentation & talk
帯活動	Small Talk Teacher's Talk	Small Talk Teacher's Talk	Small Talk Teacher's Talk	Small Talk Teacher's Talk	Small Talk Teacher's Talk
	Round 1 (聞く・概要理解)	Round 2 (聞く・音と文字の一致)	Round 3 (音読・詳細理解)	Round 4 (音読・構文理解)	Round 5 (話す・書く)
領域	「聞くこと」 「話すこと（発表）」	「聞くこと」 「読むこと」	「聞くこと」 「話すこと（発表）」	「聞くこと」 「話すこと（発表）」 「書くこと」	「話すこと（発表）」 「話すこと（やり取り）」 「書くこと」
ラウンドの目標	初めて聞いたストーリーの概要を捉えることができる。	ストーリーの音声と文字を一致させ，内容を更に理解することができる。	詳細理解の為に内容を考えながら何度も音読を繰り返す中で，リンキングや発音，イントネーション等の技能を更に高めることができる。	穴開きリーディングに取り組む中で英語の語順や表現のかたまりを意識し，少しずつアウトプットにつなげることができる。	これまで練習したり触れたりしてきた表現を使って自分の言葉でストーリーを語るることができる。
目指す生徒像	ストーリーのキャラクターになりきり，仲間と協力して「なりきりスピーキング」を楽しんでいる。	音声を頼りに，文字を認識し，ストーリーを読んでいる。	英語らしく読み聞かせしている。	穴あきに入る英語がわかり，書いたり話したりしている。	各 Unit のストーリーについて，書いたり，英語で説明したりしている。

4月 ⇒ 5月 ⇒ 6月 ⇒ 7月 ⇒ 8月 ⇒ 9月 ⇒ 10月 ⇒ 11月 ⇒ 12月 ⇒ 1月 ⇒ 2月 ⇒ 3月

※各ラウンドで，Unit 1～Unit 8を通して学習を進める。

5 Round 3 の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>○聴き親しんできたストーリーの音声と文字を合わせ、リンキングや発音、イントネーションなどに気をつけて英語らしく読み聞かせをすることができる。</p> <p>○日常的话题について、様々な視点から話をふくらませることができる。</p>		

6 指導と評価の計画（10時間）

※Unit 5 の Round 1~5 の各ステージを切り取り、計画として示しています。各 Round 間には、時差があります。

ST : Small Talk TT : Teacher's Talk GW : Group Work DT : Digital Textbook
 WC : World Class room

時間	ねらい (Aim)	主な活動内容 (Activities)	知	思	主
1 (4月)	<p>Round 1-①</p> <p>◎英文を聞き、ストーリーのおおまかな内容をつかむ。</p>	<p>☆帯活動 (ST and TT)</p> <p>○英文を聞き、本文の内容を予測する。</p> <p>○本文を聞き、ピクチャーカードを並べる。</p> <p>○なりきりリスニング (登場人物になりきり台詞を聞き取る)</p> <p>○なりきりスピーキング (登場人物になったつもりで台詞を言う) (GW)</p>			
2 (4月)	<p>Round 1-②</p> <p>◎英文を聞き、ストーリーの内容を理解する。</p>	<p>☆帯活動 (ST and TT)</p> <p>○英文を聞き、グループでなりきりスピーキングに取り組み、英文を暗記する。</p> <p>○「なりきりショートスキット」を行う。(GW)</p>		○	○

3 (7月)	<p>Round 2</p> <p>◎ストーリーの音声と文字を一致させる。</p>	<p>☆帯活動 (ST and TT) (SDGs)</p> <p>○英文を聞き、暗記したストーリーの内容を確認する。</p> <p>○ストーリーの内容を示す英文をランダムに並べ、聞こえた順に英文を並べる。(Handout)</p> <p>○ストーリーの内容について、教師の質問に答える。</p> <p>○ストーリーを音読する。(WC)</p> <p>○「リーディングチャレンジ」を行う。(Handout)</p>	○		
4 【本時】	<p>Round 3-①</p> <p>◎ストーリーをリンキングや発音、イントネーションに気をつけて英語らしく音読する。</p>	<p>☆帯活動 (ST and TT)</p> <p>○ストーリーの内容について、確認する。</p> <p>○New Words の発音練習(DT)(GW) (Handout)</p> <p>○様々な音読練習を用いて、スモールステップを踏みながら、話すことにつながる音読練習をする。(GW) (WC) (Handout)</p> <p>○ストーリーの登場人物のプレゼンに対する自分の意見や感想を英語で述べあい、互いに伝え合う。(GW)</p>			
5 (11月)	<p>Round 3-②</p> <p>◎ストーリーの音声と文字を合わせ、リンキングなどの発音に気をつけて英語らしく読み聞かせをする。</p>	<p>☆帯活動 (ST and TT)</p> <p>○ストーリーの内容について、確認する。</p> <p>○New Words の発音練習(DT)(GW) (Handout)</p> <p>○様々な音読練習を用いて、リンキングが起こっている部分を互いに共有しあい、自然な発音につながる音読練習をする。(GW) (WC) (Handout)</p> <p>○「リーディングチャレンジ」を行う。(Handout)</p>	○		
6 (12月)	<p>Round 4-①</p> <p>◎聞き親しんできたストーリーの音声を基に、穴あきの部分の語彙を書くことができる。</p>	<p>☆帯活動 (ST and TT)</p> <p>○ストーリーの内容について、振り返る。</p> <p>○「穴あきリーディング」に取組み、穴あきの部分を埋めていく。(Handout)</p> <p>○「穴あきスピーキング」を行い、穴あきの部分に入る英文や語彙を互いに確認し合う。(GW)</p>			

7 (12月)	Round 4-② ◎聞き親しんできたストーリーの音声を基に、表現や文構造の理解を深める。	☆帯活動 (ST and TT) ○ストーリーの内容について、振り返る。 ○「穴あきリーディング」や「穴あきスピーキング」に取り組み、バラバラになった英文の語順を正し英文を完成させる。(GW) (Handout)		○	○
8 (1月)	Round 5-① ◎ストーリーの内容を、自分の言葉で書く。	☆帯活動 (ST and TT) ○ストーリーの内容について、振り返る。 ○「穴あきリーディング」や「穴あきスピーキング」に取り組み、バラバラになった英文の正しい語順を再確認する。(GW) (Handout) ○ピクチャーを使いながら、ペアやグループでストーリーの内容についての英文を書く。(Handout)	○		
9 (1月)	Round 5-② ◎自分の言葉でまとめたストーリーを伝える。	☆帯活動 (ST and TT) ○ピクチャーを使いながら、自身でまとめた英文を基に、Retellingを行う。(GW) (Handout)		○	○
10. (1月)	Language ◎関係代名詞(which,that)を使った英文を聞いたり、話したり、書いたりして文構造を理解する。	☆帯活動 (Mini Project) ○教科書本文とワークシートを用いて関係代名詞目的格 (which) を用いた文に慣れ、使用する。(Handout) ○ピクチャーを使いながら、関係代名詞目的格 (which,that) を用いた英文を聞いて、書く。(GW) (Handout)			

7 本時の学習【4/10時間】

(1) 本時の目標

○Today's Aim

ストーリーの音声と文字を合わせ、リンキングや発音、イントネーションに気をつけて英語らしく音読することができる。

(2) 本時の評価基準（指導に生かす評価）

【知識・技能】

○聴き親しんできたストーリーの音声を頼りに、音声と文字を合わせ、リンキングや発音、イントネーション等の特徴を理解し、音読する技能を身につけている。

(3) 本時の展開

過程	学習内容 (活動)	指導上の留意点	評価基準評価方法 生徒指導 4つのポイント
導入 (15分)	<p>○Warm up (帯活動)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Greeting & Teacher's Talk ・ Small talk <p>Topic: About SDGs</p> <p>Watching the short movie about SDGs.</p> <p>○Today's Aim</p>	<p>○ALT との会話を聞かせながら, 生徒を引き込み, 発話させる。</p> <p>○本時のめあてを復唱し, 学習の見通しを持たせる。</p>	共感的な人間関係
	<p>Today's Aim : ストーリーをリンキングや発音, イントネーションに気をつけて英語らしく音読しよう!</p>		
展開 (30分)	<p>○Review for the story of Unit 5</p> <p>○New Words</p> <p>○Reading Activities</p> <p>○Share the ideas about the story of Unit 5 in each group.</p>	<p>○本時の活動の説明をする。(時間配分・活動形態)</p> <p>○グループで協力するよう声掛け、机間指導を行う。</p> <p>○自身に合った学習法を選択し, 主体的に取り組むよう促す。</p> <p>○生徒の困り感や問いを見取り, 中間評価として扱う。</p> <p>○ストーリーのキャラクター (登場人物) の意見に注目させ, それに対して自身はどのような考えを持っているかを話すよう促す。</p>	<p>共感的な人間関係</p> <p>自己決定 自己存在感</p> <p>○知識・技能 (指導に生かす評価の見取り) 【活動観察】</p> <p>自己決定 自己存在感</p>

終末 (5分)	○Summary & Reflections.	○Today's Aimや単元の目標を振り返り、発音を意識して音読できるようになったか、或いは何に困難を感じ、何を、どのように取り組めば解決できそうなのかを考えさせる。	自己決定
------------	-------------------------	--	------

8 板書計画

Today is Friday, November 25th, 2022

Weather is sunny.

Today's Aim: ストーリーをリンキングや発音、イントネーションに気をつけて英語らしく音読しよう！

①Greeting & Small Talk

②Review

③New words

④Reading Activity(Group)

④Share

⑤Reflection

The story of Unit 5 "Plastic Waste"

Picture A	Picture B	Picture C
Picture D	Picture E	Picture F

【参考文献・資料等】

- 中学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説 外国語編 文部科学省、平成 29 年 7 月
- 令和 4 年度版「問い」が生まれる授業サポートガイド 沖縄県教育委員会 令和 4 年 3 月
- 「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 中学校 外国語 国立教育政策研究所 教育課程研究センター
- 横浜 5 Round System～1 年に教科書を 5 回くり返す中学校英語授業～ ジャパンライム株式会社
- 沖縄県学力向上推進 5 か年プラン・プロジェクト II 令和 4 年度版 沖縄県教育委員会 令和 4 年 4 月